YAHAGI

矢作建設工業株式会社

2027年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

証券コード1870
（東証プライム・名証プレミア）

2026年11月10日

サマリー

2027年3月期 第2四半期（中間期）実績

- 売上高は前期比22.5％の減収も、中間期として過去2番目の高水準を確保
- 減収の影響で営業利益は56.5%の減益となった一方、中間純利益は特別利益の計上などにより、前期比15.8%の減益に留まる

連結売上高	連結営業利益	中間純利益
694億円	34億円	48億円
前期比　△22.5%	前期比　△56.5%	前期比　△15.8%

2027年3月期 修正予想【2026.8.7公表】

- 建築事業の減収に加え、不動産事業も分譲マンション事業の譲渡に伴い減収となることから、売上高は前期比11.5％の減収を見込む
- 減収の影響により営業利益は前期比30.9％の減益を見込む一方、当期純利益は特別利益の計上などにより、前期比9.8％の増益となる見込み

連結売上高	連結営業利益	当期純利益	1株配当金
1,500億円	95億円	93億円	110円
前期比　△11.5%	前期比　△30.9%	前期比　+9.8%	前期比 +10円

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

INDEX

1. 2027年3月期 第2四半期（中間期）業績 …… 4

2. 2027年3月期 業績予想 …… 15

3. 株主還元及び資本収益性分析 …… 19

4. 中期経営計画の進捗状況 …… 23

5. 投資家面談における主な質疑応答 …… 30

6. 参考情報 …… 34

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

1

2027年3月期 第2四半期（中間期）業績

2027年3月期 第2四半期（中間期）連結損益計算書

売上高

前期に大型工事の施工が最盛期を迎えた反動に加え、不動産販売の件数・規模が減少したことにより、前期比201億円の減収となったものの、中間期としては過去2番目の高水準を確保

利益

減収により、営業利益は前期比45億円の減益、中間純利益は政策保有株式の売却益や分譲マンション管理事業の譲渡益などの特別利益を計上したことにより、同9億円の減益に留まる

（単位：百万円）

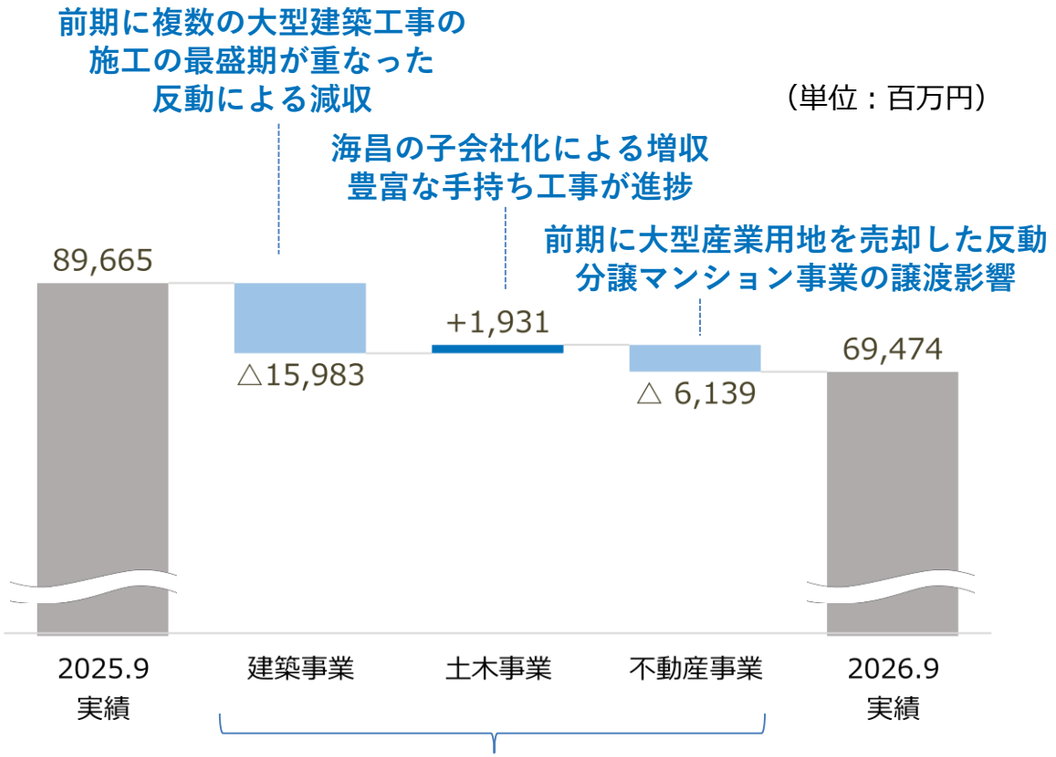
	2024.9 実績	2025.9 実績	2026.9 実績	前期比 増減額	前期比 増減率	2026.9 予想【2026.8.7公表値】	予想比 増減額	予想比 増減率
売上高	**58,760**	**89,665**	**69,474**	△20,191	△22.5%	**68,600**	874	1.3%
完成工事高	49,581	79,064	65,012	△14,051	△17.8%	65,600	△587	△0.9%
不動産事業等売上高	9,179	10,601	4,461	△6,139	△57.9%	3,000	1,461	48.7%
売上総利益	**6,421**	**13,331**	**9,233**	△4,098	△30.7%	**8,300**	933	11.2%
（売上総利益率）	*(10.9%)*	*(14.9%)*	*(13.3%)*	*△1.6pt*		*(12.1%)*	*1.2pt*	
完成工事総利益	3,409	9,655	8,241	△1,414	△14.6%	7,400	841	11.4%
不動産事業等総利益	3,011	3,676	992	△2,684	△73.0%	900	92	10.2%
販売費及び一般管理費	5,134	5,341	5,758	416	7.8%	6,000	△241	△4.0%
営業利益	**1,286**	**7,989**	**3,474**	△4,515	△56.5%	**2,300**	1,174	51.1%
（営業利益率）	*(2.2%)*	*(8.9%)*	*(5.0%)*	*△3.9pt*		*(3.4%)*	*1.6pt*	
経常利益	**1,325**	**7,982**	**3,586**	△4,395	△55.1%	**2,330**	1,256	53.9%
（経常利益率）	*(2.3%)*	*(8.9%)*	*(5.2%)*	*△3.7pt*		*(3.4%)*	*1.8pt*	
親会社株主に帰属する中間純利益	**967**	**5,737**	**4,829**	△908	△15.8%	**4,000**	829	20.7%
（中間純利益率）	*(1.6%)*	*(6.4%)*	*(7.0%)*	*0.6pt*		*(5.8%)*	*1.2pt*	

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

売上高・営業利益増減要因（対前期実績）

売上高

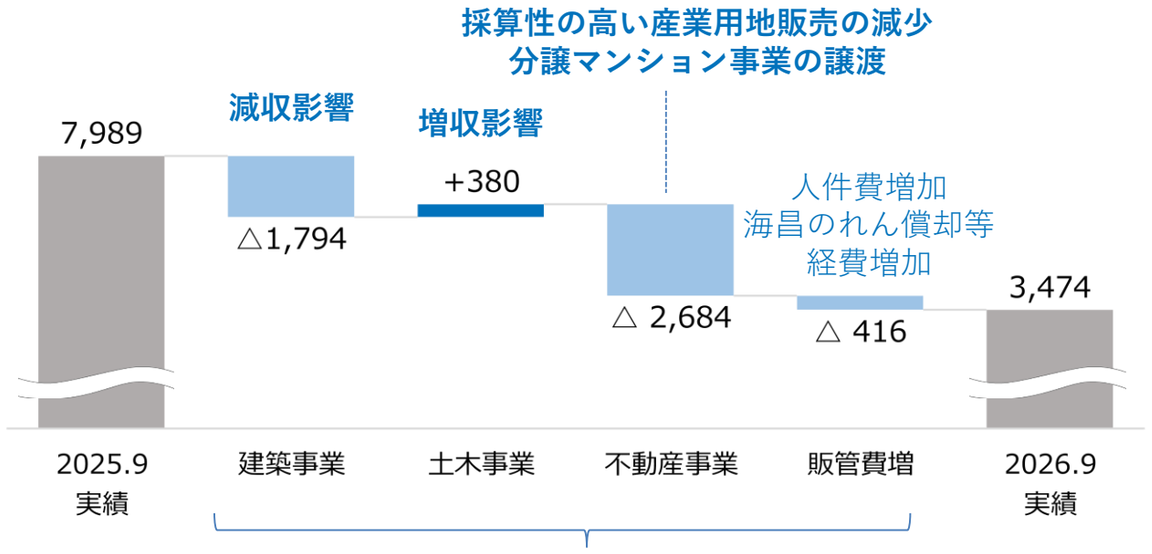
前期に大型工事の施工が最盛期を迎えた反動等により201億円の減収も、中間期としては過去2番目の高水準



前期比 201億円減

営業利益

土木事業では増益となったものの、建築事業および不動産事業の減収の影響などにより、45億円の減益



前期比 45億円減

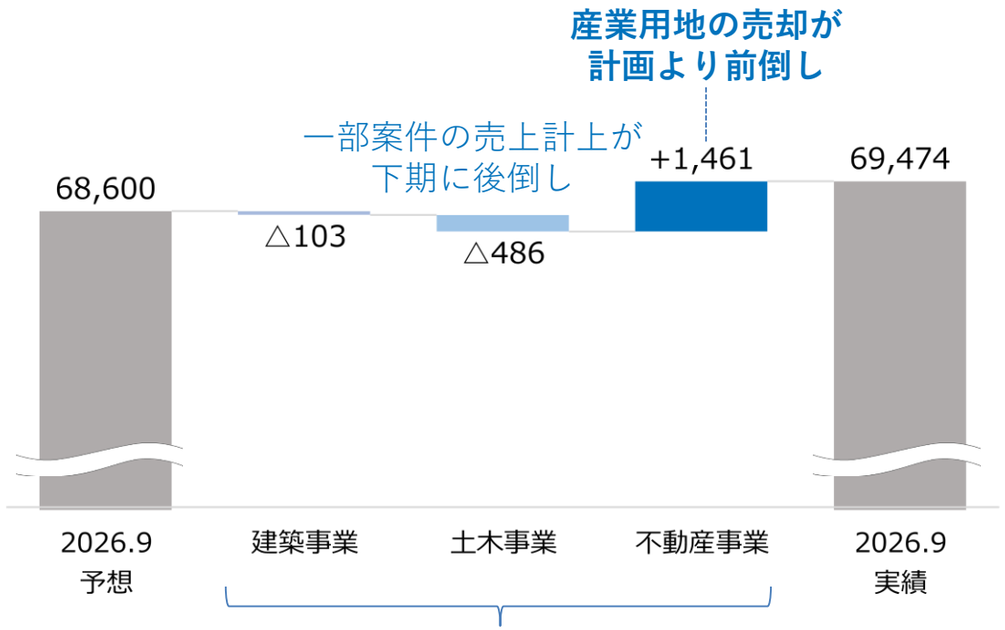
©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

売上高・営業利益増減要因（対予想【2026.8.7公表値】）

売上高

不動産事業において、産業用地の売却が計画より前倒しとなったことなどにより、予想を8億円上回る

（単位：百万円）

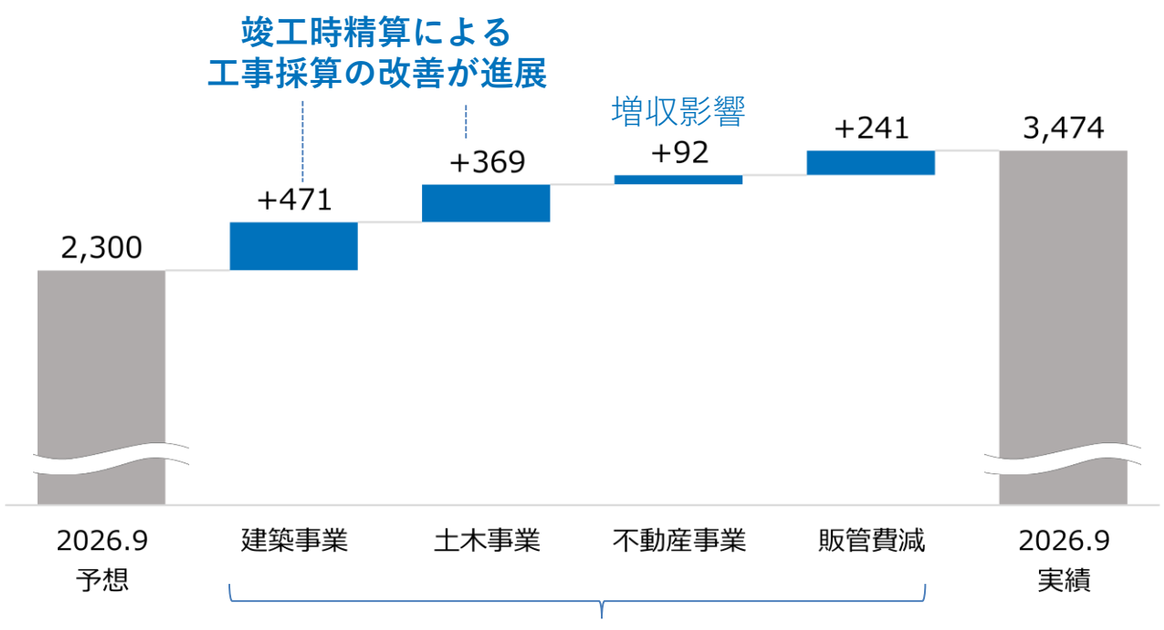


予想比 8億円増

営業利益

竣工時精算による工事採算の改善が進んだことなどにより、営業利益は予想を11億円上回る

（単位：百万円）



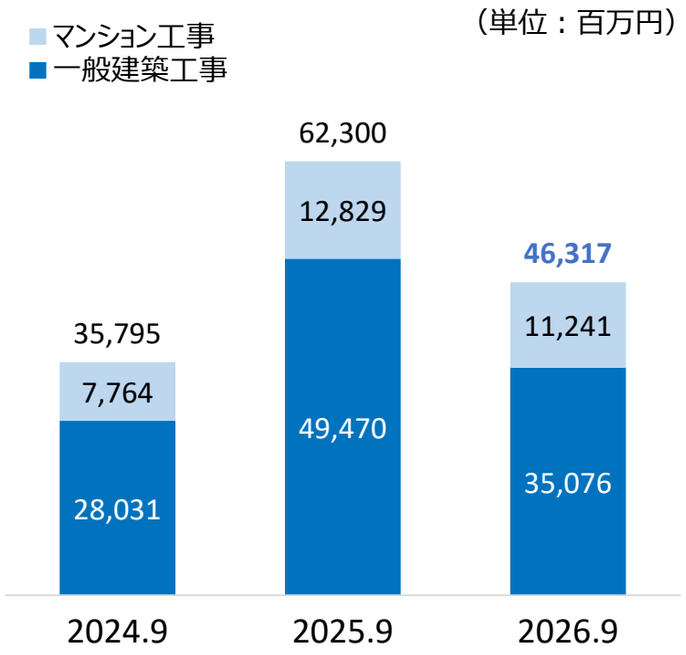
予想比 11億円増

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

〈事業別概況〉建築事業

売上高

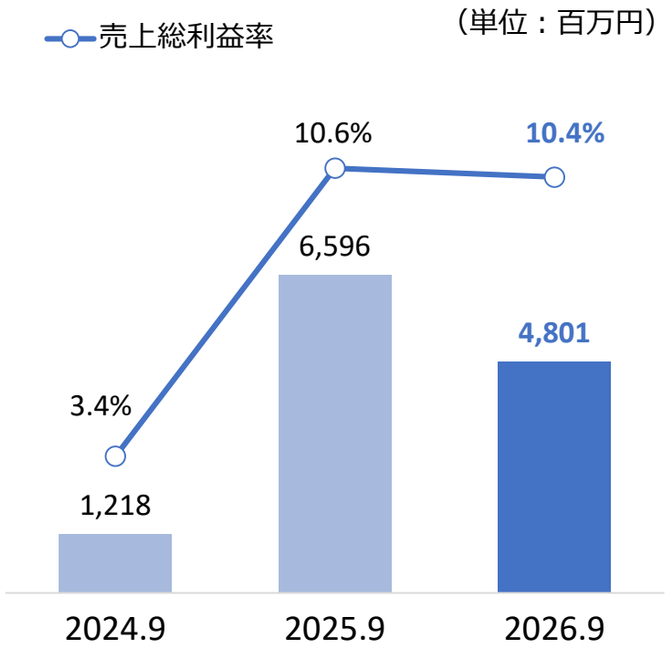
当期も大型物流施設工事などを中心に施工が順調に進捗したものの、過去最高であった前期の反動により159億円の減収



前期比 159億円減 （25.7%減）

売上総利益

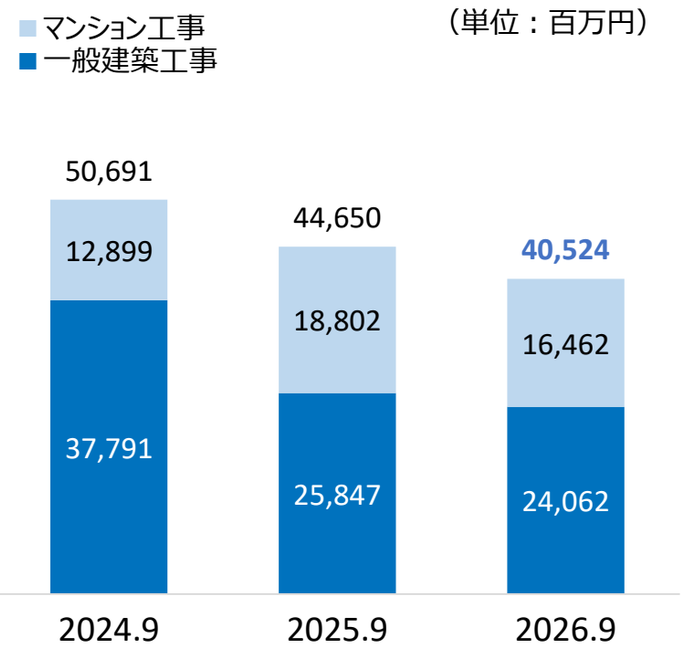
減収により、前期比17億円の減益



前期比 17億円減 （27.2%減）

受注高

マンションやホテル、物流施設を受注するなど計画通り推移したものの、前期に複数の大型工事を受注した影響により、前期比41億円の減少



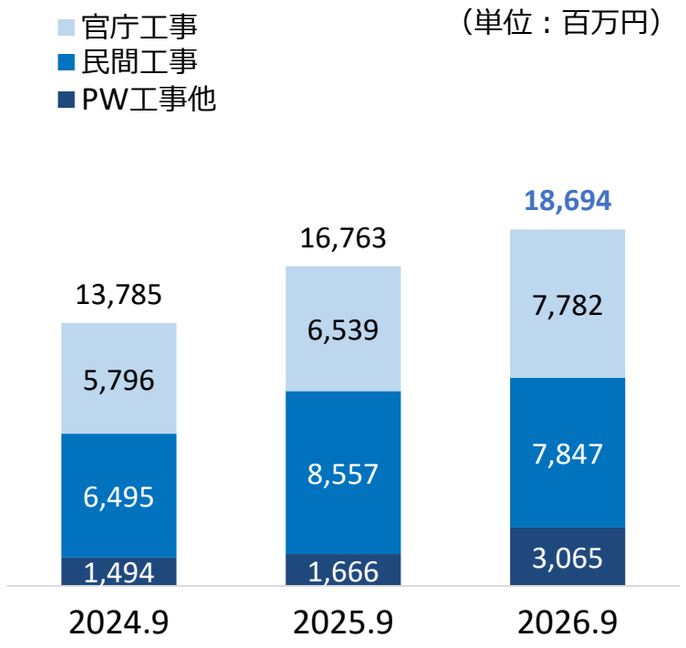
前期比 41億円減 （9.2%減）

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

〈事業別概況〉土木事業

売上高

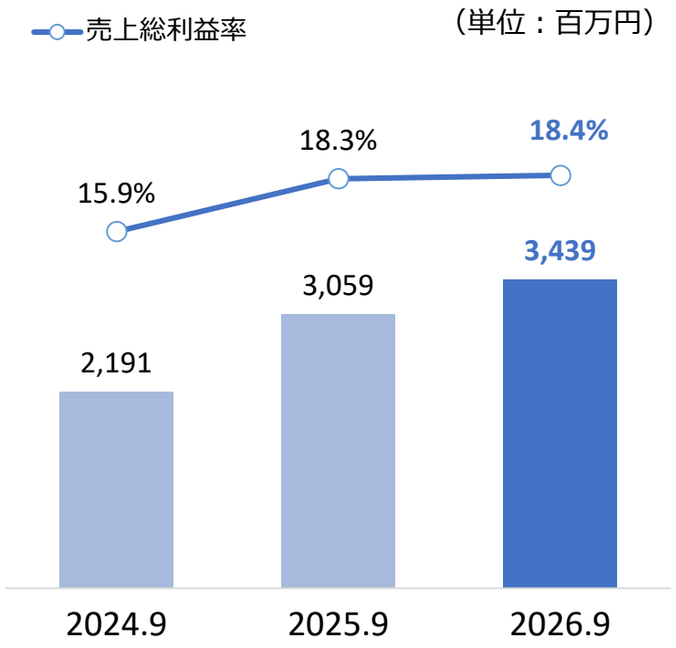
官庁工事の豊富な手持ち工事が順調に進捗したことに加え、㈱海昌の子会社化に伴うPW工事他の増加により、前期比19億円の増収



前期比 19億円増（11.5%増）

売上総利益

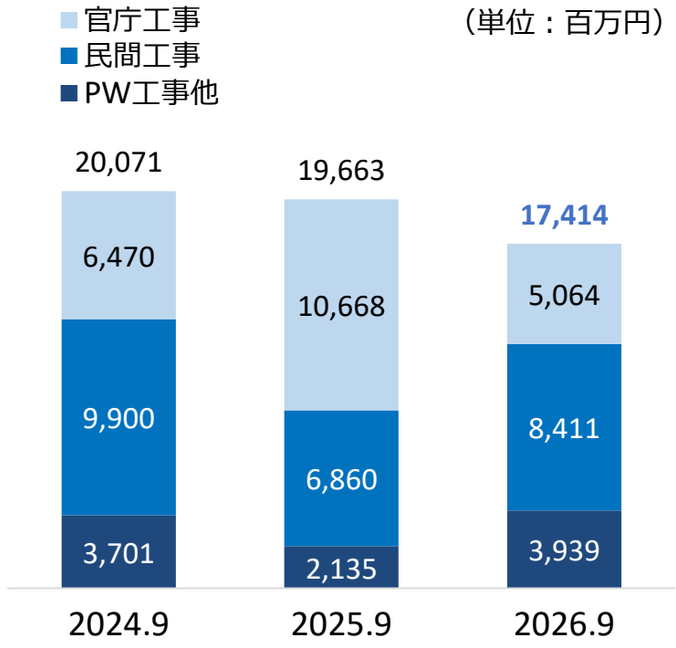
増収により、前期比3億円の増益



前期比 3億円増（12.4%増）

受注高

大型造成工事の受注などにより民間工事は増加したものの、前期に大型官庁工事を受注した影響により、前期比22億円の減少



前期比 22億円減（11.4%減）

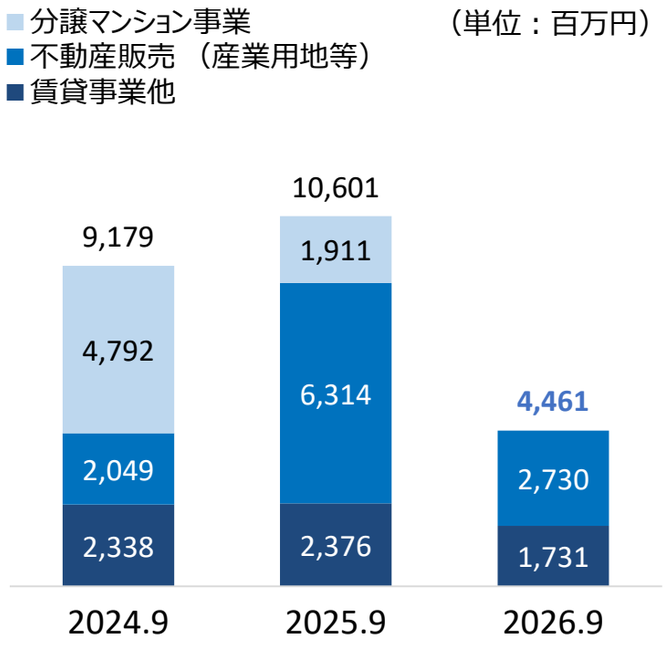
※ＰＷ工事：当社独自技術である地山補強土工法の「パンウォール工法」による工事

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

〈事業別概況〉不動産事業

売上高

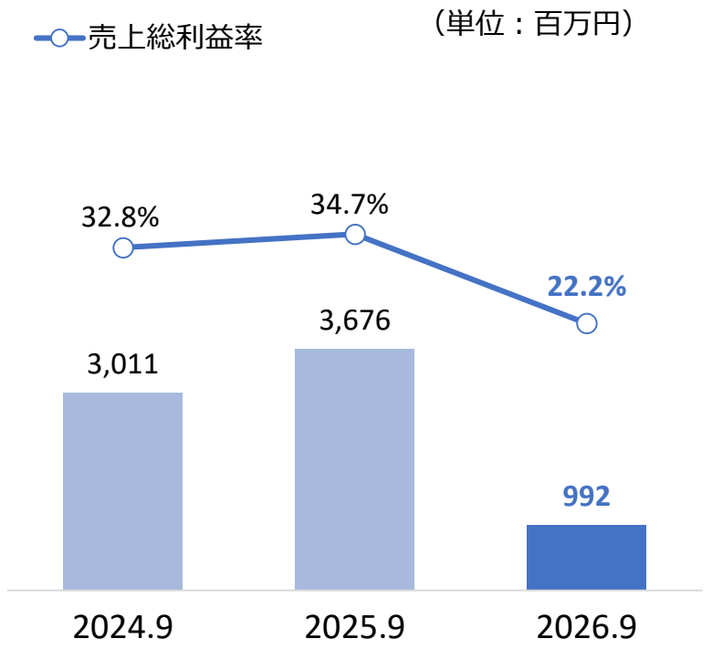
前期に比べ不動産販売の件数・規模が減少したことに加え、分譲マンション事業譲渡の影響などにより、前期比61億円の減収



前期比 61億円減 （57.9%減）

売上総利益

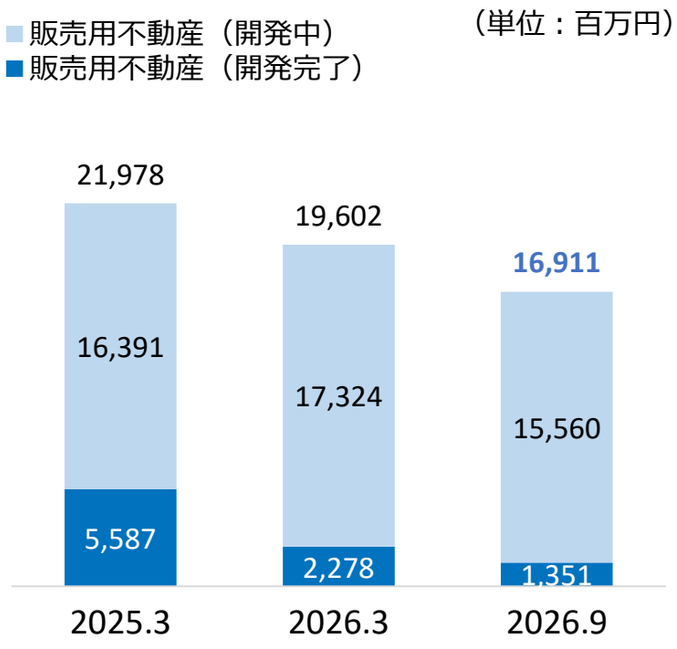
採算性の高い産業用地販売の減少などにより、前期比26億円の減益



前期比 26億円減 （73.0%減）

販売用不動産残高

大規模産業用地の開発が進捗した一方、分譲マンション事業の譲渡影響により、前期末比26億円減少



前期末比 26億円減 （13.7%減）

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

受注高、次期繰越高総括

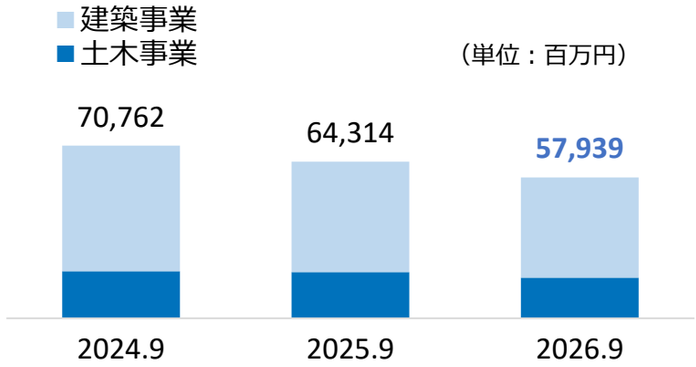
受注高

複数の大型工事を受注した前期の影響により、前期比63億円減少したものの、マンションや物流施設に加え、教育施設やホテルなども受注し、受注用途の多様化が進展

（単位：百万円）

	2024.9 実績	2025.9 実績	2026.9 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
建築事業	50,691	44,650	**40,524**	△ 4,125	△9.2%
土木事業	20,071	19,663	**17,414**	△ 2,249	△11.4%
合計	70,762	64,314	**57,939**	△ 6,375	△9.9%

前期比 **63億円減**（**9.9%減**）



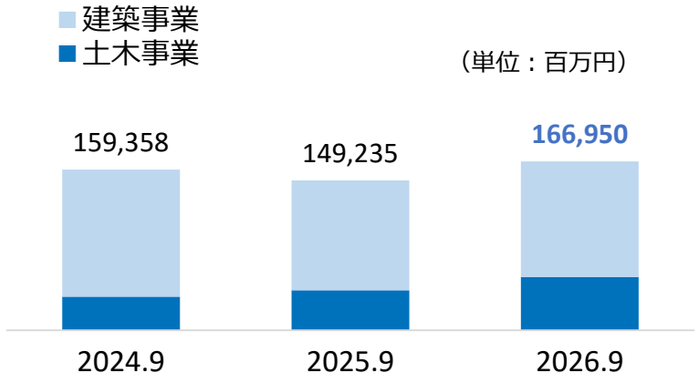
次期繰越高

前期からの豊富な繰越工事に当中間期の受注が加わり、中間期として過去最高を更新

（単位：百万円）

	2024.9 実績	2025.9 実績	2026.9 実績	前期比 増減額	前期比 増減率
建築事業	118,067	101,993	**107,361**	5,368	5.3%
土木事業	41,291	47,242	**59,588**	12,346	26.1%
合計	159,358	149,235	**166,950**	17,714	11.9%

前期比 **177億円増**（**11.9%増**）



©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

連結財政状態

総資産

工事代金の回収が進み売上債権が137億円減少したほか、分譲マンション事業の譲渡等により販売用不動産も減少
一方、㈱海昌の子会社化に伴うのれんの計上などにより無形固定資産が31億円増加し、総資産は前期末比141億円減少

有利子負債

工事代金の回収により得た資金をもとに借入金の返済を進めた結果、前期末比166億円減の141億円となり、D/Eレシオ※は0.2倍へ低下

純資産

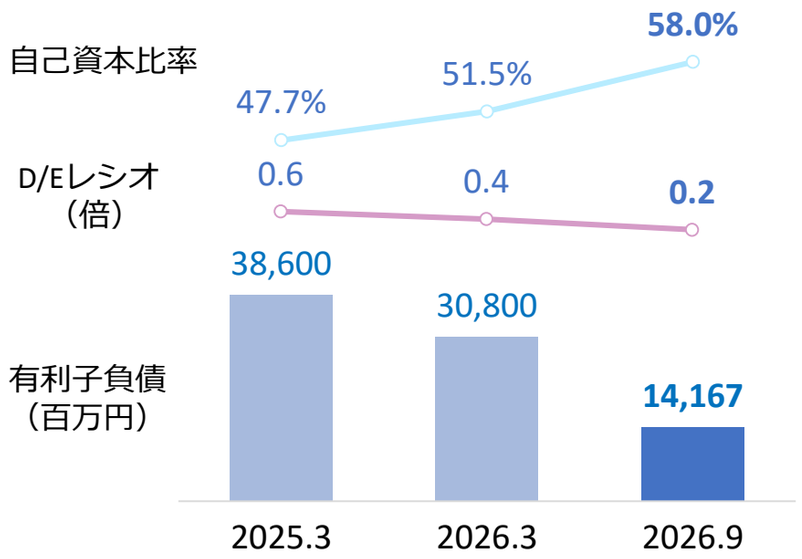
期末配当金の支払いがあったものの、これを上回る純利益の計上により、純資産は前期末比13億円増加
純資産の増加に加え、総資産が減少したことから、自己資本比率は58.0%へ上昇

（単位：百万円）

資産の部		2026.9 実績	前期末比増減
流動資産	現金預金	20,175	3,914
	売上債権	52,852	△13,738
	未成工事支出金	2,171	△1,139
	販売用不動産	16,911	△2,691
	その他	5,873	△2,412
	計	97,983	△16,067
固定資産	有形固定資産	22,249	△347
	無形固定資産	3,852	3,114
	投資その他の資産	9,390	△885
	計	35,492	1,881
資産合計		133,476	△14,186

負債の部		2026.9 実績	前期末比増減
流動負債	仕入債務	12,734	△340
	短期借入金	8,112	△15,387
	未成工事受入金	13,037	2,447
	その他	10,256	△732
	計	44,140	△14,013
固定負債	長期借入金	6,055	△1,244
	その他	5,931	△266
	計	11,987	△1,510
負債合計		56,128	△15,524
純資産		77,348	1,338
負債･純資産合計		133,476	△14,186

有利子負債・D/Eレシオ・自己資本比率



※D/Eレシオ：有利子負債÷自己資本

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2027年3月期 第2四半期（中間期）連結キャッシュ・フロー

当中間期末における現金及び現金同等物の残高は201億円となり、前期末から39億円増加

営業CF 売上債権の回収などにより、185億円のプラス

投資CF 分譲マンション事業の譲渡に伴う収入などにより、66億円のプラス

財務CF 借入金の返済を進めたことなどにより、212億円のマイナス

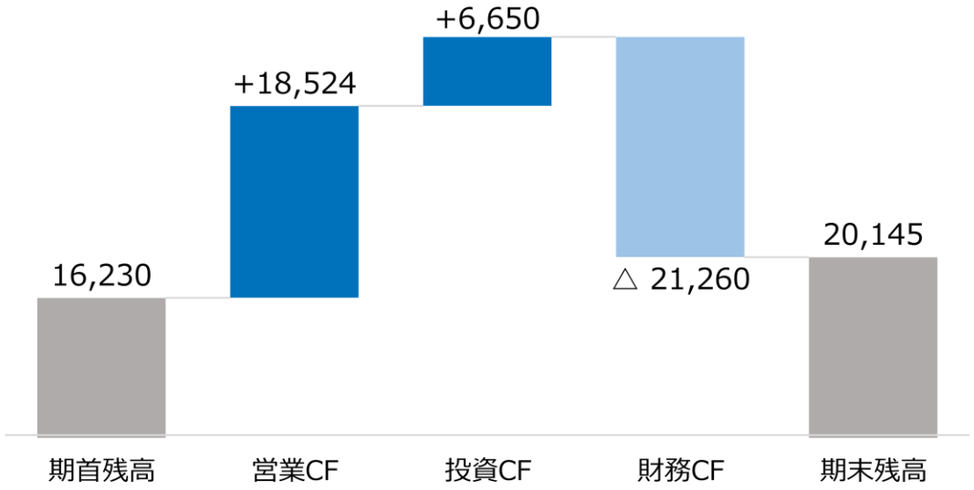
キャッシュ・フローの推移

（単位：百万円）

	2025.3	2026.3	2026.9
営業キャッシュ・フロー	△ 17,191	9,849	18,524
投資キャッシュ・フロー	△ 255	1,921	6,650
フリーキャッシュ・フロー	△ 17,446	11,770	25,174
財務キャッシュ・フロー	13,149	△11,160	△21,260

当期のキャッシュ・フロー詳細

（単位：百万円）



©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2027年3月期第2四半期（中間期）完成物件



LOGI'Q白岡III

工事場所
埼玉県白岡市

発注者
東急不動産株式会社

完成時期
2026年7月

**最高ランクの環境認証（『CASBEE S』及び『ZEB』）を取得予定の次世代型物流施設
延面積は7万㎡超**



大和川窪田遊水地樋門築造

工事場所
奈良県安堵町

発注者
国土交通省　近畿地方整備局

完成時期
2026年7月

洪水時の河川の氾濫の防止など地域インフラの強化を目的とした樋門工事



NTN総合運動公園屋内プール（桑名市総合運動公園屋内プール）

工事場所
三重県桑名市

発注者
伊藤忠商事株式会社

完成時期
2026年9月

**桑名市総合運動公園内の屋内プール施設
官民連携事業に施工事業者として当社が参画**



極東開発グループ　テクニカルセンター

工事場所
愛知県豊田市

発注者
極東開発工業株式会社

完成時期
2026年7月

車両の研究開発の新たな中核拠点用地の分譲から建築工事まで、当社が一貫して担い、先方ニーズの直線600mのテストコースを実現

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2

2027年3月期業績予想

2027年3月期 業績予想（前期実績との比較）

売上高

前期は複数の大型建築工事が施工の最盛期にあり、売上水準が高かったことに加え、不動産事業では分譲マンション事業の譲渡により同事業の売上計上がなくなることから、前期比193億円の減収を見込む

利益

減収の影響により、営業利益は前期比42億円の大幅減益を見込む一方、政策保有株式の売却益や分譲マンション管理事業の譲渡益などの特別利益を計上することにより、当期純利益は前期比8億円の増益と過去最高を見込む

（単位：百万円）

	2025.3 実績	2026.3 実績	2027.3 通期予想【2026.8.7公表値】	前期比（通期） 増減額	前期比（通期） 増減率
売上高	**140,699**	**169,399**	**150,000**	△ 19,399	△11.5%
完成工事高	118,701	150,156	139,000	△ 11,156	△7.4%
不動産事業等売上高	21,997	19,243	11,000	△ 8,243	△42.8%
売上総利益	**19,416**	**25,980**	**21,300**	△ 4,680	△18.0%
（売上総利益率）	*(13.8%)*	*(15.3%)*	*(14.2%)*	*△1.1pt*	
完成工事総利益	10,836	18,888	17,000	△ 1,888	△10.0%
不動産事業等総利益	8,580	7,092	4,300	△ 2,792	△39.4%
販売費及び一般管理費	10,762	12,238	11,800	△ 438	△3.6%
営業利益	**8,654**	**13,742**	**9,500**	△ 4,242	△30.9%
（営業利益率）	*(6.2%)*	*(8.1%)*	*(6.3%)*	*△1.8pt*	
経常利益	**8,616**	**13,698**	**9,380**	△ 4,318	△31.5%
（経常利益率）	*(6.1%)*	*(8.1%)*	*(6.3%)*	*△1.8pt*	
親会社株主に帰属する当期純利益	**5,643**	**8,468**	**9,300**	831	9.8%
（当期純利益率）	*(4.0%)*	*(5.0%)*	*(6.2%)*	*1.2pt*	

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2027年3月期 業績予想（事業別）

（単位：百万円）

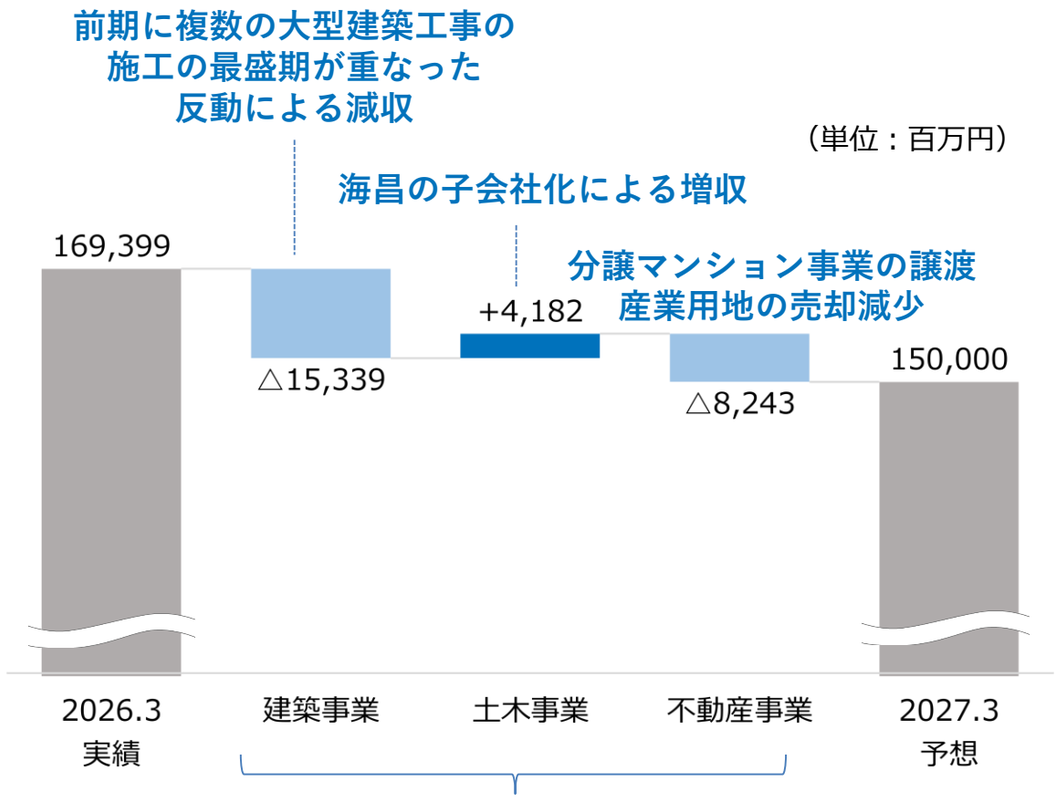
	2025.3 実績	2026.3 実績	2027.3 通期予想【2026.8.7公表値】	前期比（通期） 増減額	前期比（通期） 増減率
売上高	**140,699**	**169,399**	**150,000**	△19,399	△11.5%
完成工事高	118,701	150,156	139,000	△11,156	△7.4%
建築事業	86,529	112,339	97,000	△15,339	△13.7%
土木事業	32,172	37,817	42,000	4,182	11.1%
不動産事業等売上高	21,997	19,243	11,000	△8,243	△42.8%
売上総利益	**19,416**	**25,980**	**21,300**	△4,680	△18.0%
完成工事総利益	10,836	18,888	17,000	△1,888	△10.0%
（完成工事総利益率）	*(9.1%)*	*(12.6%)*	*(12.2%)*	*△0.3pt*	
建築事業	4,676	11,056	8,800	△2,256	△20.4%
（建築事業利益率）	*(5.4%)*	*(9.8%)*	*(9.1%)*	*△0.7pt*	
土木事業	6,159	7,831	8,200	368	4.7%
（土木事業利益率）	*(19.1%)*	*(20.7%)*	*(19.5%)*	*△1.2pt*	
不動産事業等総利益	8,580	7,092	4,300	△2,792	△39.4%
（不動産事業等総利益率）	*(39.0%)*	*(36.9%)*	*(39.1%)*	*2.2pt*	

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

2027年3月期 売上高・営業利益増減要因（対2026.3実績）

売上高

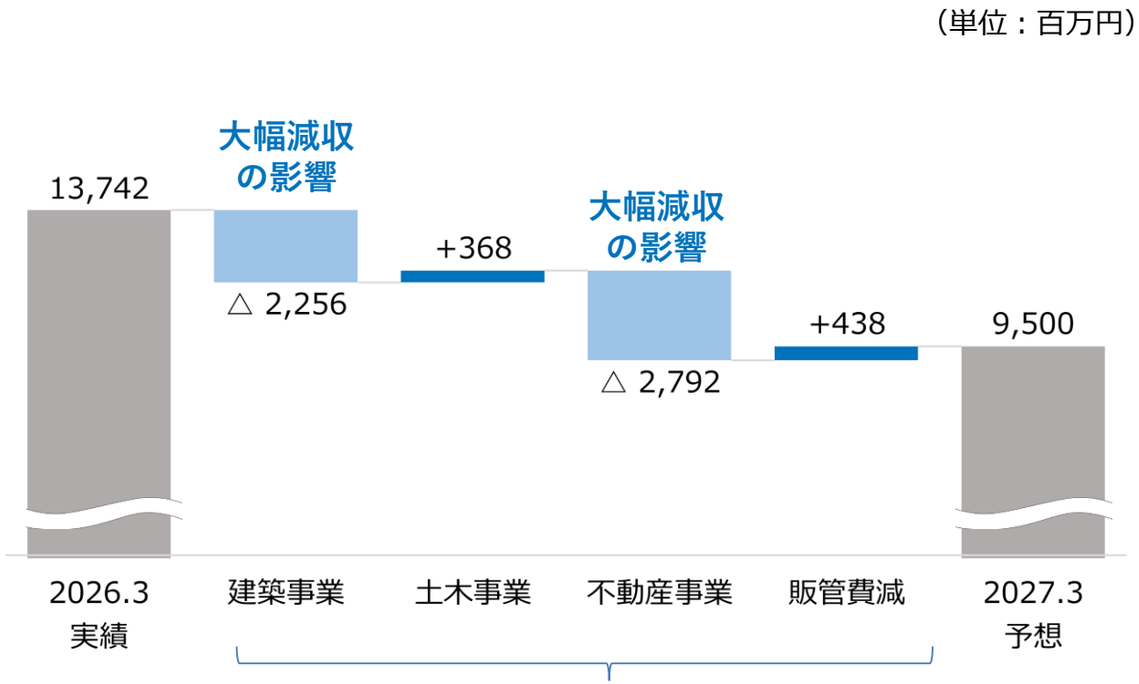
建築事業および不動産事業の大幅減収により、
前期比193億円の減収を見込む



前期比 193億円減

営業利益

大幅な減収の影響により、前期比42億円の減益を見込む



前期比 42億円減

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

3

株主還元及び資本収益性分析

株主還元・配当

配当方針：自己資本配当率（DOE）５％以上、累進配当

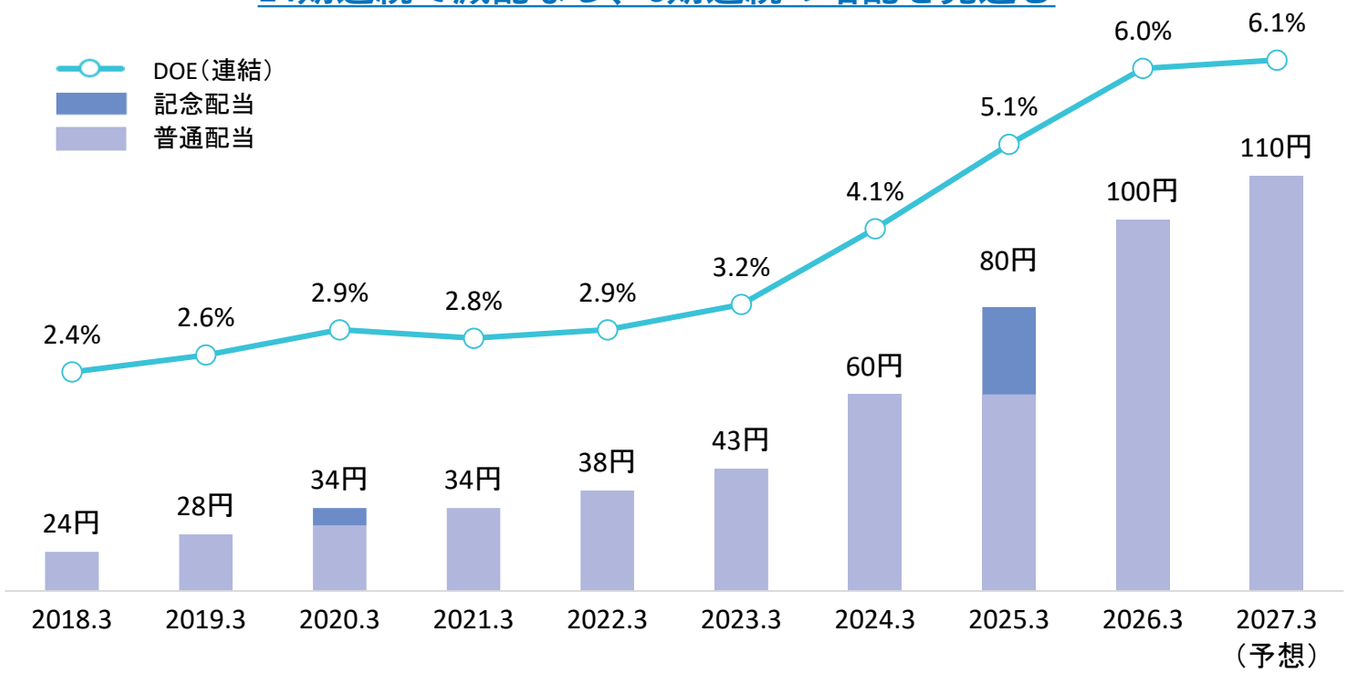
2027.3予想

中間配当金は公表通り55円とする
期末配当予想も公表値通り55円とし、年間配当金は110円（前期比10円の増配）とする予定
自己資本配当率（DOE）は6.1％を見込む

	2025.3	2026.3	2027.3
中間配当金	40円	45円	55円
期末配当金	40円	55円	55円(予想)
年間配当金	80円	100円	110円(予想)
配当性向	61.0%	50.8%	51.1%(予想)
自己資本配当率（DOE）	5.1%	6.0%	6.1%(予想)

1株当たり年間配当金

14期連続で減配なし、6期連続の増配を見込む

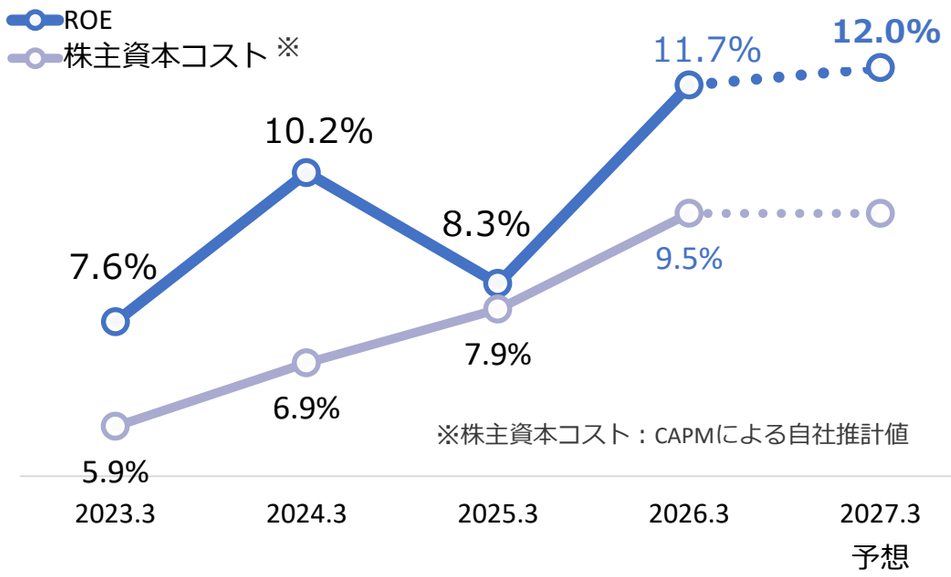


©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

ROEの現状分析

2027.3予想 ROE 12.0%

ROE（自己資本利益率）



2026.3実績

売上高当期純利益率の改善に加え、総資産回転率も向上したことにより、ROEは11.7%と前期から3.4ポイント上昇

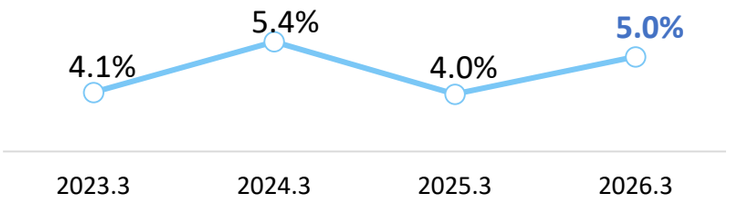
2027.3予想

ROEは12.0%と前期から0.3ポイント上昇を見込む

国債金利の上昇に伴うリスクフリーレートの上昇や、株価変動によるβ値（市場感応度）の上昇により、株主資本コストも上昇傾向にあることから、さらなる収益改善と資本効率の向上に取り組む

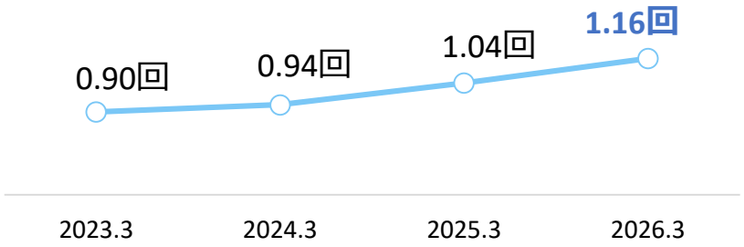
※ROE（予想）は、当期純利益予想を期首・期末平均自己資本で除して算定
　期末自己資本は、期首自己資本に当期純利益予想を加算し、年間配当予想に基づく配当金支払額を控除して算定

売上高当期純利益率



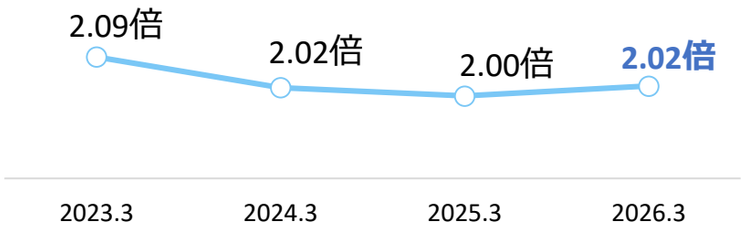
×

総資産回転率



×

財務レバレッジ



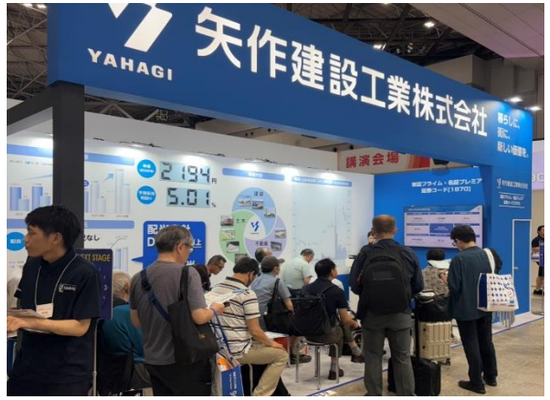
©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

IR活動への取組み状況

株主・投資家との対話の状況

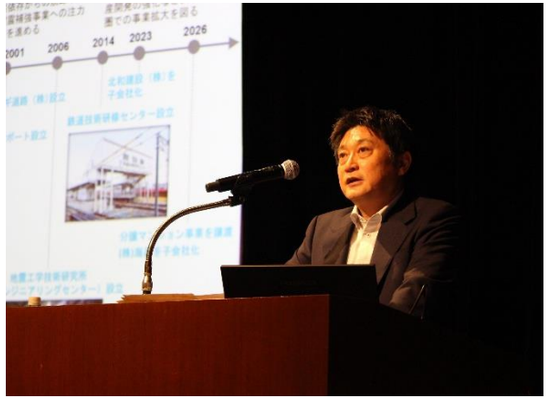
前年度に引き続き、決算説明会の開催や、日経・東証IRフェアへの出展、機関投資家との個別面談など、多様な機会を通じて対話を実施

2026年度	主な対応者
決算説明会	社長、担当役員
個人投資家向け説明会	社長
日経･東証IRフェア	担当部署 ※4年連続出展
機関投資家個別面談	担当部署



日経･東証IRフェア（2026年8月開催）


個人投資家向け説明会（2026年8月開催）


個人投資家向け説明会
（代表取締役社長　竹下英司）

今後の主な予定

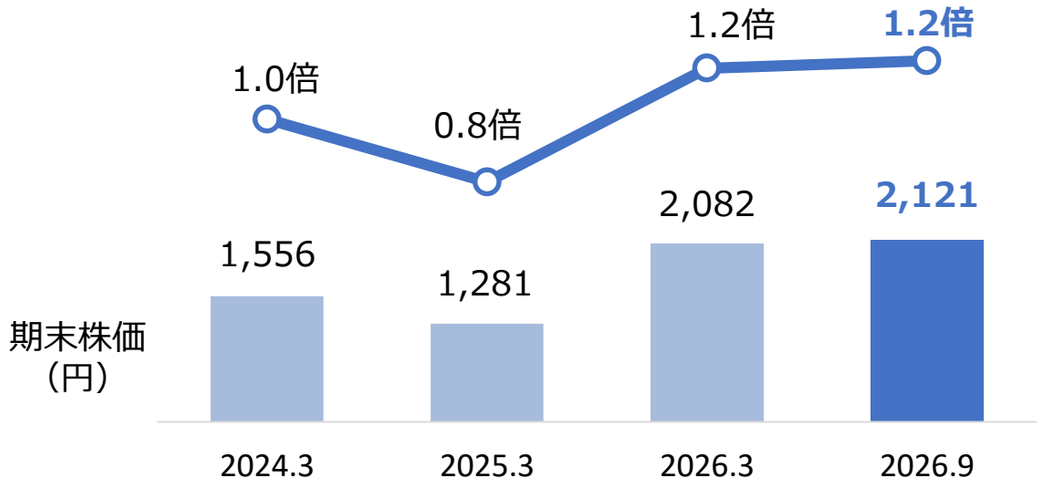
2026年11月　機関投資家向け決算説明会（東京）

2026年12月　名証 IR EXPO 2026（名古屋）

個人投資家向け会社説明会（大阪）

など

PBR（株価純資産倍率）



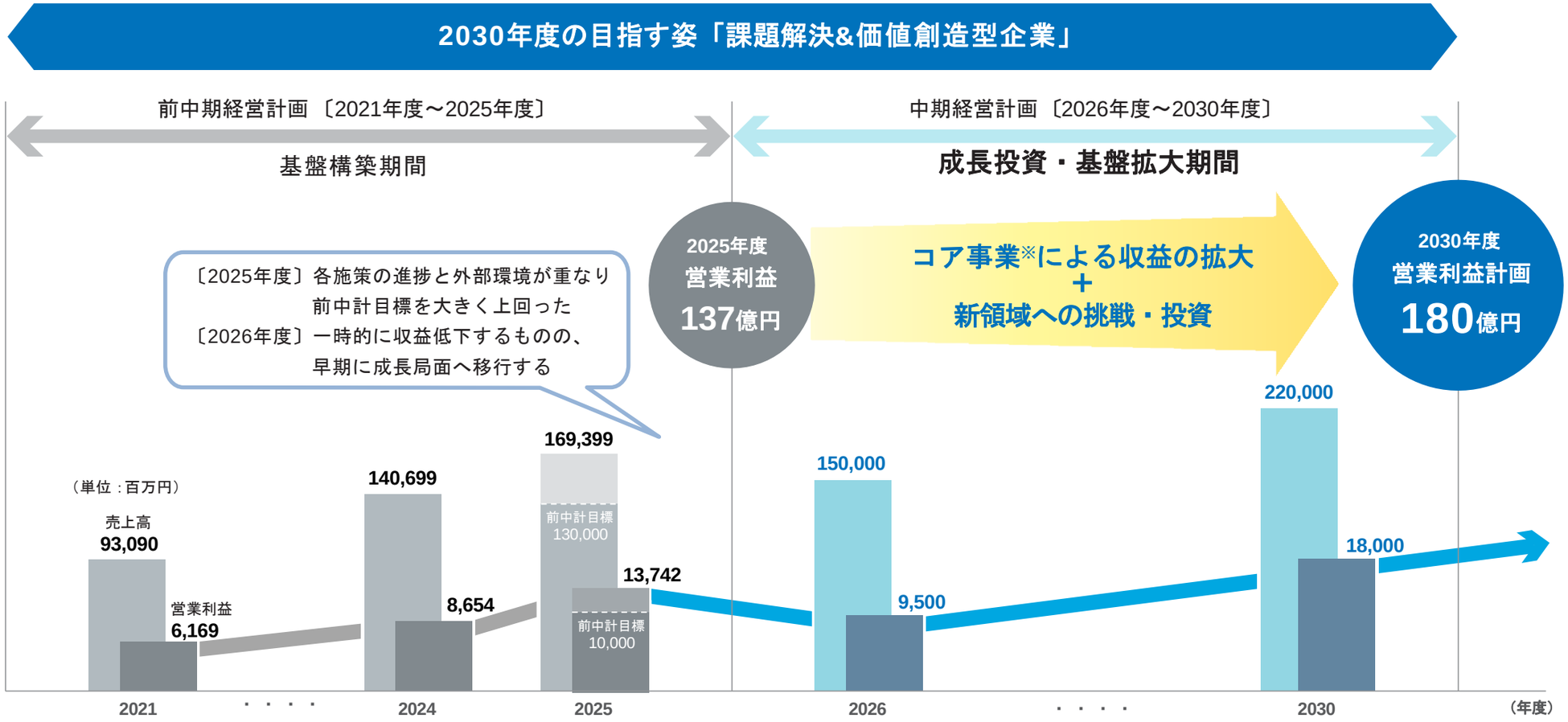
©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

4

中期経営計画〔2026年度～2030年度〕の進捗状況

中期経営計画〔2026年度～2030年度〕の位置づけ

稼ぐ力の強化と、将来に向けた収益基盤のさらなる拡大を両輪で推進



※ 前中期経営計画にて構築した営業基盤を活用した事業

© 2026 YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

基本方針・経営戦略

基本方針

「課題解決＆価値創造型企業」への変革

～多様なステークホルダーへの価値提供を通じた企業価値向上と持続的成長の循環サイクルを実現する～

経営戦略

『企業価値 ＝ 事業価値※1 × 無形資産価値※2』と定義し、
双方を加速度的に増強させることで企業価値の持続的な向上を目指す

経営戦略①

コア事業における稼ぐ力の追求と価値創出の最大化

- 前中期経営計画で構築した事業基盤を活かし、持続的に成果を生み出せる体制の強化と**利益（利益率）・資本効率の向上**に向けた各事業戦略の推進

経営戦略②

成長領域への挑戦と未来に向けた事業変革の加速

- 将来の稼ぐ力に向け拠点経営体制の確立をはじめ、**新領域への挑戦**と業績の安定化に向けた**各事業の進化・発展**を両輪で推進

事業価値の加速度的な増強

経営戦略③

積極投資による人財価値の最大化と組織風土改革による生産性向上

- 課題解決＆価値創造人財の育成と働きがいの醸成に向けた**人財・組織への積極投資**
- 従業員総活躍に向けた**組織風土の改革**と就労環境の整備
- 生産性を最大化させる**AI・DX戦略の実行**

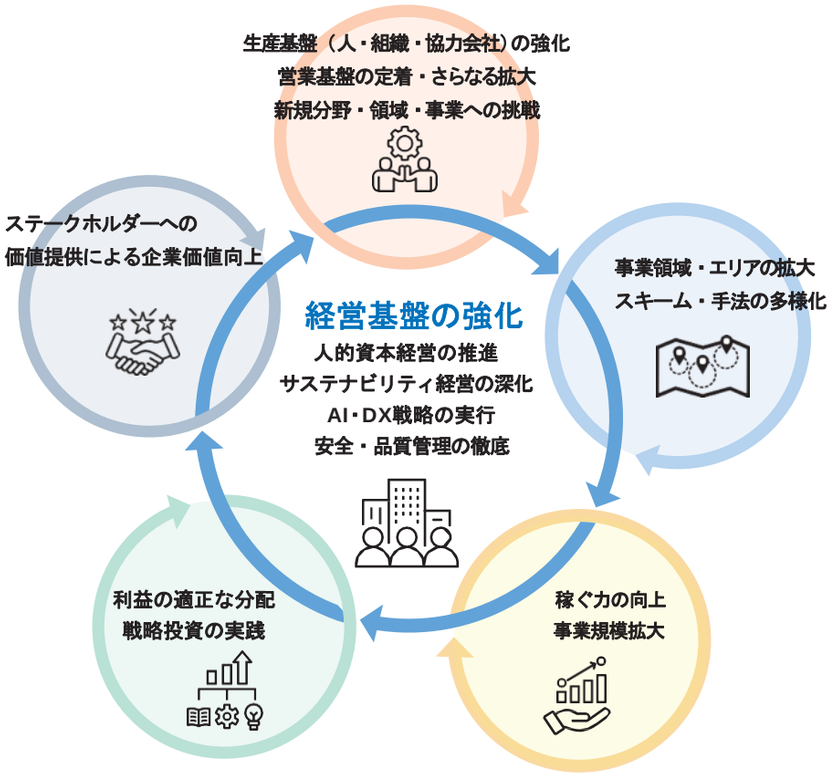
経営戦略④

企業価値を持続的に向上させる経営基盤の強化

- 安全管理の徹底、品質の向上、環境への配慮を永続的に追求
- 多様なステークホルダーへの価値提供を通じた**企業価値のさらなる向上**

無形資産価値の加速度的な増強

持続的成長の循環サイクル



※1 事業価値：地域社会や顧客の持つ課題を解決し、新たな価値を創造した結果として得られる正当な対価（≒稼ぐ力）
※2 無形資産価値：当社がこれまでに積み上げ、今後も積極的に強化していく人財力、ブランド力、技術力、地域との信頼関係など価値創出の源泉

© 2026 YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

数値目標（2030年度）

企業価値向上に向けた実効性のある目標（主要KPI）を設定

経営指標

収益性	資本効率	財務健全性
営業利益	ROE	自己資本比率
180億円 以上	12% 以上	40% 以上
※売上高2,200億円程度		※D/Eレシオ1.0倍以下

その他指標

成長投資（NET）	配当方針	エンゲージメントレーティング※
500億円	DOE 5% 以上（累進配当）	AA （2025年度 BBB）

※ エンゲージメントレーティングは（株）リンクアンドモチベーションのエンゲージメントサーベイより、同社算定評価を採用（AAA～DDの11段階）

© 2026 YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

数値目標に対する進捗状況

	2025年度 実績	**2026年度 予想 【2026.8.7公表値】**	**2030年度 中計目標**
売上高	1,693億円	**1,500億円**	**2,200億円程度**
営業利益	137億円	**95億円**	**180億円以上**
自己資本当期純利益率（ROE）	11.7%	**12.0%** ※1	**12%以上**
自己資本比率	51.5%	**58.0%** ※2	**40%以上**
負債資本倍率（D/Eレシオ）	0.4倍	**0.2倍** ※2	**1.0倍以下**
自己資本配当率（DOE）	6.0%	**6.1%**	**5.0%以上**

※1 ROE（予想）は、親会社株主に帰属する当期純利益を期首・期末平均自己資本で除して算定
　　期末自己資本は、前期末自己資本に当期純利益を加算し、年間配当予想に基づく配当金支払額を控除して算定

※2 自己資本比率およびD/Eレシオは、2027年3月期中間期の実績値を掲載

© 2026 YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

数値目標に対する進捗状況（事業別）

		2025年度 実績	**2026年度 予想 【2026.8.7公表値】**	**2030年度 中計目標**
建築事業	売上高（百万円）	112,339	**97,000**	**150,000**
	粗利益（百万円）	11,056	**8,800**	**16,500**
	利益率	*9.8%*	***9.1%***	***11.0%***
土木事業	売上高（百万円）	37,817	**42,000**	**50,000**
	粗利益（百万円）	7,831	**8,200**	**10,000**
	利益率	*20.7%*	***19.5%***	***20.0%***
不動産事業	売上高（百万円）	19,243	**11,000**	**20,000**
	粗利益（百万円）	7,092	**4,300**	**7,000**
	利益率	*36.9%*	***39.1%***	***35.0%***
合計	売上高（百万円）	169,399	**150,000**	**220,000**
	粗利益（百万円）	25,980	**21,300**	**33,500**
	利益率	*15.3%*	***14.2%***	***15.2%***

© 2026 YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

中期経営計画達成への取組み

名古屋・栄エリアの新たな交流起点となる「ゲートフロント久屋大通」への取組み

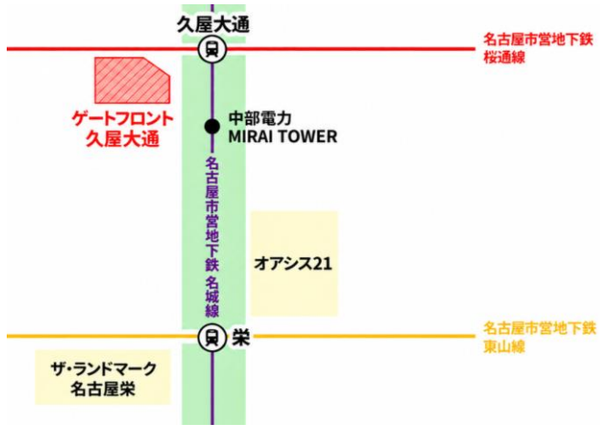


外観イメージ・北東側（三菱地所提供）

事業者	三菱地所株式会社
工期	2024年10月1日 ～ 2026年12月(予定)
主要用途	オフィス・商業・駐車場
建物規模	地上13階、地下1階 高さ約60m
	地上：鉄骨造、一部CFT造
	地下：鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
	延床面積　約24,123㎡

ゲートフロント久屋大通プロジェクト

- 久屋大通駅に直結する、オフィス・商業施設の複合開発
- 地上、地下を結ぶバリアフリーなネットワークの整備によるエリアの回遊性向上
- 人々の活動、交流の拠点として、にぎわいの創出と都市機能の強化に貢献



取組み意義

中期経営計画〔2026年度～2030年度〕事業戦略（建築）

新領域への挑戦による成長基盤の構築・拡大

1. 高規格オフィスの施工を通じた技術力・マネジメント力のさらなる向上
2. CFT構造※を採用した大規模建築物の設計・施工実績、ノウハウの蓄積
3. 都心部のシンボリックな案件への取組みを通じた知名度の向上、人財の確保などへの寄与

CFT構造：Concrete Filled Steel Tube構造。円形または角形の鋼管の中にコンクリートを充填した構造で、主に柱として使用される。
鉄骨造、鉄筋コンクリート造より柱寸法を小さくしたり、階高を高くしたりすることで、空間の自由度が増す。
現場での鉄筋工事や型枠工事が不要となるため、生産性の向上や工期短縮も可能となるといった特徴がある。

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

5

投資家面談における主な質疑応答

投資家面談における主な質疑応答（2026年度面談実施分）

Q.中東情勢の緊迫化による事業への影響は、現時点で顕在化しているか。

現時点では、資材調達に大きな支障は生じておらず、工事の遅延も発生していないことから、業績への影響は限定的とみている。
当社では、専門工事会社やメーカーなどの発注先を早期に選定し、条件が整い次第、速やかに発注することで、必要な資材・設備の確保に努めている。また、主要資材や燃料価格の動向を継続的にモニタリングするとともに、必要に応じて発注者と価格転嫁や契約条件の見直しに向けた協議を行っている。今後も情勢の変化を注視し、事業および業績への影響の抑制に努める。

Q.第1四半期の建築事業の受注高は前年同期を下回ったが、今後の受注見通しを教えてほしい。

受注高は、大型案件の受注時期によって四半期ごとの変動が大きく、単一四半期の前年同期比較のみで受注環境を判断することは難しい。前年同期には複数の大型建築工事を受注していたため、第1四半期の減少はその反動によるところが大きい。
2027年3月期の建築事業の受注高は、期首手持工事の状況や施工キャパシティを踏まえ、前期並みの水準を目指している。用途別では、事業会社の生産設備関連、物流倉庫、マンションを中心に受注を見込んでいる。

Q.建築事業の通期の計画利益率が、第1四半期から大きく低下する理由は何か。

第1四半期は、複数の工事における竣工時精算などによる工事採算の改善が寄与し、建築事業の売上総利益率は12.0%となった。
一方、第2四半期以降は、こうした採算改善について、現時点で合理的に見込める範囲のみ計画に反映していることから、通期の売上総利益率は9.1%を見込む。

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

投資家面談における主な質疑応答（2026年度面談実施分）

Q.建築事業における足元の受注時採算の傾向を教えてほしい。

建築事業では、受注時の採算管理の徹底や、資材価格・労務費の上昇を受注価格に反映する取組みの進展などにより、受注時採算は数年前の水準から改善している。直近四半期は前期末とおおむね同水準で推移しており、足元では改善した水準を維持している。
受注時採算は、案件の用途、規模、工期、施工条件、リスクなどによって異なるため、個別案件ごとに採算性を精査し、引き続き採算性を重視した受注判断を行っていく。

Q. 2027年3月期の不動産事業の売上高および売上総利益が、前期に比べて大きく減少する理由は何か。

前期は、複数の開発物件の売却に加え、分譲マンション事業の売上を計上した。一方、2027年3月期は、分譲マンション事業の譲渡により同事業の売上（前期実績：約50億円）が計上されないことに加え、開発物件の売却規模も前期を下回る計画である。このため、不動産事業の売上高および売上総利益は、前期比で大きく減少する見込み。
一方、下半期には大規模産業用地の売却を予定しており、上半期と比べて売上高、売上総利益ともに増加する見込み。

Q.不動産事業は物件の売却時期によって業績が変動するが、今後どのように収益の安定化を図るのか。

従来の産業用地の開発・売却に加え、今後は一部の土地や建物を自社で保有し、賃料収入を得たうえで、適切なタイミングで売却するストック活用型の取組みを進める。これにより、不動産売却の有無や時期による業績変動を抑えるとともに、保有・運用・売却を通じて収益機会の拡大を図っていく。
2030年度までを移行期間と位置づけ、2035年度を目途に事業ポートフォリオの組み換えを進める方針。

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

投資家面談における主な質疑応答（2026年度面談実施分）

Q.中期経営計画では2030年度にROE12%以上を目標としているが、業績拡大を踏まえると低い水準ではないか。

ROE12%は、最低限達成すべき水準と位置付けている。中期経営計画期間中は、不動産事業における事業ポートフォリオの転換や成長投資の実行が、全体の利益率およびROEを一時的に押し下げる要因となる。一方、建設事業の利益率向上、総資産回転率の改善、成長投資の収益化などにより、2030年度にはROE12％以上の達成を目指す。中長期的には、不動産事業を含む成長投資の成果を着実に利益へつなげ、ROE12％以上を安定的に確保するとともに、さらなる向上を目指していく。

Q.人手不足への対応と、生産性向上に向けた取組みを教えてほしい。

人手不足は建設業界共通の重要課題と認識している。女性や外国籍人財を含む技術者の採用強化と社内人財の育成を進めるとともに、協力会社との長期的な信頼関係の構築を通じて、安定した施工体制の確保に取り組んでいる。
生産性向上については、AI・DXを活用した業務の自動化・省力化やデータ分析の高度化を進め、従業員1人当たりの生産性向上を図っている。あわせて、技能労働者が働きやすい現場環境の整備を進め、施工体制の維持・強化に取り組んでいる。

Q. 2026年10月末に実施されるTOPIXの初回定期入替において、当社株式の継続選定に対する認識を教えてほしい。

JPX総研が2026年10月7日に公表した初回定期入替の選定結果において、当社株式はTOPIX構成銘柄として継続選定された。
新たな選定ルールにおける既存構成銘柄の継続基準は、年間売買代金回転率0.14以上、かつ浮動株時価総額の累積比率が上位97％以内となっており、当社株式はいずれの基準も満たした。
今回の継続選定は、幅広い投資家層における当社株式の認知度や株式流動性の維持・向上に資するものと認識している。
今後も、持続的な業績成長、資本効率の向上、株主還元およびIR活動の充実を通じて企業価値を高め、株式市場からの評価向上につなげていく。

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

6

参考情報

受注高実績詳細

用途別受注高

（単位：百万円）

		2024.9 実績		2025.9 実績		2026.9 実績	
建築事業	マンション	12,899	(25.4%)	18,802	(42.1%)	16,462	(40.6%)
	物流施設	19,110	(37.7%)	9,363	(21.0%)	5,885	(14.5%)
	工場	236	(0.5%)	9,636	(21.6%)	4,830	(11.9%)
	事務所	10,426	(20.6%)	569	(1.3%)	931	(2.3%)
	教育施設	0	(0.0%)	132	(0.3%)	4,966	(12.3%)
	鉄道(駅舎等)	815	(1.6%)	1,695	(3.8%)	553	(1.4%)
	その他	7,205	(14.2%)	4,453	(10.0%)	6,897	(17.0%)
	合計	50,691	(100.0%)	44,650	(100.0%)	40,524	(100.0%)
土木事業	道路	6,824	(34.0%)	9,314	(47.4%)	5,505	(31.6%)
	鉄道（軌道等）	6,001	(29.9%)	3,974	(20.2%)	3,643	(20.9%)
	土地造成	2,590	(12.9%)	303	(1.5%)	3,091	(17.8%)
	PW工法関連	3,701	(18.4%)	2,135	(10.9%)	3,939	(22.6%)
	その他	955	(4.8%)	3,937	(20.0%)	1,236	(7.1%)
	合計	20,071	(100.0%)	19,663	(100.0%)	17,414	(100.0%)

発注者別（官庁・民間）受注高

（単位：百万円）

		2024.9 実績		2025.9 実績		2026.9 実績	
建築事業	官庁	1	(0.0%)	111	(0.2%)	6,120	(15.1%)
	民間	50,689	(100.0%)	44,539	(99.8%)	34,403	(84.9%)
	合計	50,691	(100.0%)	44,650	(100.0%)	40,524	(100.0%)
土木事業	官庁	6,470	(32.2%)	10,668	(54.3%)	5,064	(29.1%)
	民間	13,601	(67.8%)	8,995	(45.7%)	12,350	(70.9%)
	合計	20,071	(100.0%)	19,663	(100.0%)	17,414	(100.0%)
合計	官庁	6,471	(9.1%)	10,779	(16.8%)	11,185	(19.3%)
	民間	64,290	(90.9%)	53,534	(83.2%)	46,754	(80.7%)
	合計	70,762	(100.0%)	64,314	(100.0%)	57,939	(100.0%)

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

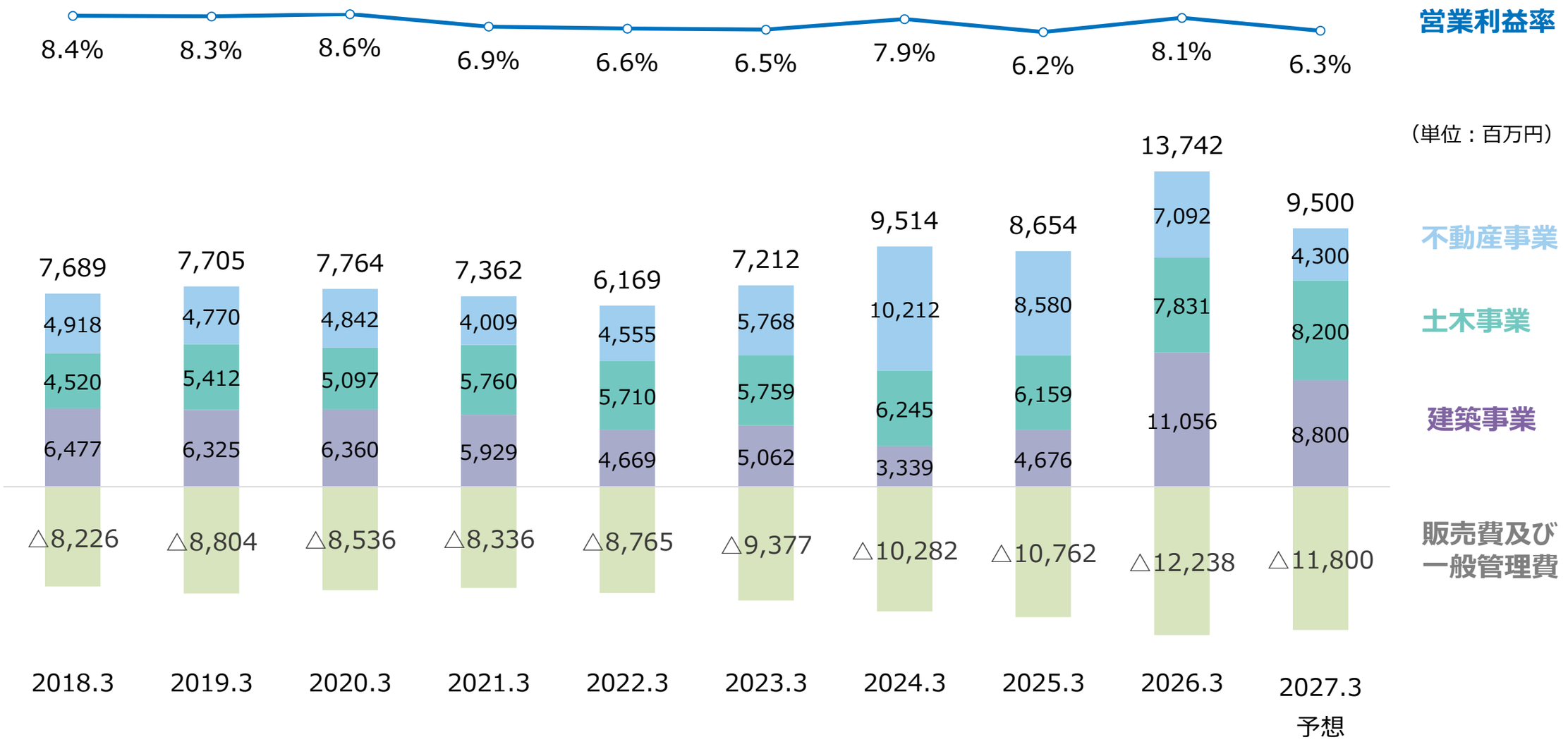
事業別四半期推移

（単位：百万円）

		2025.3					2026.3					2027.3			
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3.4Q (予想)	通期 (予想)
売上高	建築事業	15,846	19,949	27,742	22,991	86,529	28,573	33,726	27,403	22,635	112,339	21,255	25,062	50,682	97,000
	土木事業	6,498	7,287	8,764	9,622	32,172	7,128	9,634	10,145	10,907	37,817	9,290	9,404	23,305	42,000
	不動産事業	4,291	4,887	1,841	10,976	21,997	5,450	5,150	5,888	2,753	19,243	1,050	3,411	6,538	11,000
	合計	26,635	32,125	38,349	43,589	140,699	41,153	48,511	43,437	36,296	169,399	31,596	37,877	80,525	150,000
売上総利益	建築事業	795	423	2,220	1,237	4,676	3,455	3,140	2,429	2,031	11,056	2,542	2,259	3,998	8,800
	(建築事業利益率)	*5.0%*	*2.1%*	*8.0%*	*5.4%*	*5.4%*	*12.1%*	*9.3%*	*8.9%*	*9.0%*	*9.8%*	*12.0%*	*9.0%*	*7.9%*	*9.1%*
	土木事業	821	1,370	1,859	2,108	6,159	1,075	1,984	2,001	2,771	7,831	1,364	2,074	4,760	8,200
	(土木事業利益率)	*12.6%*	*18.8%*	*21.2%*	*21.9%*	*19.1%*	*15.1%*	*20.6%*	*19.7%*	*25.4%*	*20.7%*	*14.7%*	*22.1%*	*20.4%*	*19.5%*
	不動産事業	1,598	1,413	545	5,023	8,580	1,867	1,808	2,965	451	7,092	505	487	3,307	4,300
	(不動産事業利益率)	*37.2%*	*28.9%*	*29.6%*	*45.8%*	*39.0%*	*34.3%*	*35.1%*	*50.4%*	*16.4%*	*36.9%*	*48.1%*	*14.3%*	*50.6%*	*39.1%*
	合計	3,214	3,206	4,625	8,369	19,416	6,398	6,933	7,395	5,253	25,980	4,412	4,821	12,066	21,300
	(売上総利益率)	*12.1%*	*10.0%*	*12.1%*	*19.2%*	*13.8%*	*15.5%*	*14.3%*	*17.0%*	*14.5%*	*15.3%*	*14.0%*	*12.7%*	*15.0%*	*14.2%*

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

営業利益の推移



©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

連結子会社の状況

（2026年9月30日現在）

名称	住所	資本金（百万円）	決算期	事業内容	中間期の売上高（百万円）
矢作地所㈱	愛知県名古屋市東区	800	3月	不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産流通事業	882
矢作ビル＆ライフ㈱	愛知県名古屋市東区	400	3月	不動産管理事業、建築事業、サイン事業、損害保険代理業、ウッドピタ事業（木造戸建住宅耐震補強工法）、分譲マンションカスタマーサービス事業	1,591
ヤハギ緑化㈱	愛知県名古屋市東区	100	3月	スポーツターフ事業、造園・環境整備事業、法面事業、空間・エクステリア事業	2,299
㈱テクノサポート	愛知県名古屋市東区	50	3月	パンウォール（補強土壁工法）事業、ピタコラム（外付耐震補強工法）事業、建設工事、技術開発、試験体製作	677
ヤハギ道路㈱	愛知県豊田市	300	3月	舗装事業、土木事業、アスファルト合材製造販売事業、リサイクル事業	4,112
南信高森開発㈱	長野県下伊那郡高森町	50	3月	ゴルフ場経営（高森カントリークラブ）	235
北和建設㈱	京都府京都市下京区	85	3月	建築事業	5,467
㈱海昌	高知県高知市	10	3月	法面補強事業	1,000

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.

ディスクレーマー

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、予想のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。

©2026 All rights reserved., YAHAGI CONSTRUCTION CO.,LTD.